

# 商店街活性化プロジェクト

代表者 中嶋 祐介 (経済学部経済学科3年)

## 1. 目的と概要

このプロジェクトでは、近年の郊外への大型商業施設の出店の中で個性のある素晴らしいお店があるにもかかわらず、人通りも減り、元気がなくなっている商店街を盛り上げるために活動しました。そのなかで私たちは、学生を中心とした若者にもっと商店街を知ってもらうため、商店街にある美容院、服飾店にご協力いただいてファッションショーを企画、開催しました。また、飲食店などの情報発信のために、地域情報誌「瓦版」の発行も企画しました。

## 2. 実施期間（実施日）

平成26年7月1日 から 平成27年3月31日まで

## 3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、南新町、田町、常磐街の高松市南部三町商店街にスポットを当てて活動しました。より多くの学生にこのファッションショーを知ってもらうため、11月の学園祭でのファッションショーと、3月に商店街でのファッションショーを企画しておりました。11月の学園祭でのファッションショーでは学園祭の目玉であるミスキャンパスコレクションの一部のイベントとして開催させていただいたため、より多くの学生、外部のお客様に見ていただける状況で、場所もサンポート大ホールと素晴らしい環境で開催することができました。今回のファッションショーは、開催日が月曜日ということで美容院的参加数が大幅に減ったものの、新規の参加店舗が3店舗あり、計17店舗にご協力いただきました。モデルもすべて香川大学生を採用し、ミスキャンパスコレクションに出場した学生などにご協力いただきました。今回のファッションショーでは、ミスキャンパスのゲストとしてモデルの小森純さんにお越しいただいたので、ショー中にもご登壇いただき、各店舗のコーディネートについてコメントをいただきました。来場者には、各店舗からいただいたフライヤーと、私たちが作成した参加店舗の情報などを載せたマップを配布しました。学園祭でファッションショーを開催することができたので、多くの学生にお店を知っていただけたのではないかと思います。

3月に開催予定であった商店街でのファッションショーですが、諸般の事情により、今年は見送らせていただきました。発行予定であった地域情報誌「瓦版」ですが、当初は商店街活性化プロジェクトが主体となって運営する予定でしたが、商店街活性化プロジェクトの中の有志と新メンバーを加えて、新たに「瓦版編集チーム」を結成し、フリーペーパーを作成することにしました。作成にあたり、商店街のお店を取材し、その風景や、メンバーが個々の視点から商店街の魅力を facebook を通じて紹介しました。1月からはフリーペーパーの編集にあたっています。この他にも、商店街周辺に立地している服飾店、美容院などが企画したファッションショー「R I N」にも参加させていただきました。そこに参加していたお店の中で、今年から新たに私たちの企画するファッションショーに参加していただけることになった店舗もありました。また、香川大学の学生団体なえどこさんとコラボして、商店街のお店にご協力いただいて、なえどこ夜教室を開催しました。そこでは、商店街で活動されている方に講師をお願いしました。



↑ファッションショーの様子



↑なえどことのコラボ企画

#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、学生が訪れることの少なく、学生にとってよくわからない商店街のお店を、ファッションショーという学生が興味を持ちやすい形で紹介できたので、学生の視線が商店街の方向に向いてくれたのではないかと思います。また、参加していただいたモデルさん自身にも、今までよりも商店街を身近に感じてもらうことができたのではないかと思います。また、今回はミスキャンパスコレクション内での開催ということで、今まで以上に多くの香川大学生に知っていただけたのではないかと思います。普段、通行するだけではお店の雰囲気などまで分かっていけないので、ファッションショーを行うことで、お店を知ることができたのではないかと思います。

また、商店街のお店に対しても、美容院と服飾店がしっかり連携をとってファッションショーの準備に取り組んでいただいたところもあり、お店同士のつながりを強くするきっかけにもなったのではないかと思います。

## 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

お店にご協力いただいたのファッションショーの開催ということで、お店の交渉からショーの中身の企画から、モデルの募集まで私たちで行いました。これらは、普段の学生生活では経験できないことですので、私たち自身にとってすごく大きな経験になりました。また、お店との関わりのなかで、信頼をなくしてはいけないので、お店の方からお願いされたことなどは確実に行動するなど、自身に責任感などが生まれたのではないかと思います。また、参加してくれたモデル、メンバーは、商店街に対する愛着、親近感を抱いていただき、高松の商店街に限らず、中心市街地の活性化について考えを深めていけたのではないかと思います。

## 6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

企画、準備の段階で私たちの中でなかなか話が進まず、明確な形が見えてくるのが遅かったため、参加してくださったお店の方にご迷惑をおかけしてしまいました。また、初めてのサンポートホールでの開催ということで、設備の内容が分からない中で、その設備でできること・できないことの把握が遅れてしまったため、すべての準備が後手後手に回ってしまいました。メンバー内での意思の疎通がなかなか取れていなかったのが大きな課題でした。現在、メンバーが4年、3年中心であるので、これからもこのプロジェクトを継続して、高松の商店街の活性化に貢献できるように新たなメンバーを集めることが今後の課題です。今後も商店街で行われるイベントのボランティアなどへの参加は続けていきたいです。

## 7. 実施メンバー

代表者 中嶋 祐介（経済学部3年）

構成員 仁科 舞弓（経済学部4年）

福島 敬紘（経済学部4年）

亀井 理沙（経済学部4年）

牧野ひかる（経済学部3年）

森 沙耶香（経済学部3年）

金光 芽衣（経済学部3年）

伊丹 和也（経済学部2年）

川上 温嗣（経済学部4年）

藤原 治樹（経済学部4年）

竹野はるか（経済学部3年）

小倉浩太郎（経済学部3年）

葛西 真子（経済学部3年）

深井 菜穂（経済学部3年）

増田 有美（経済学部1年）